

★原理、測定法、装置、応用例から近赤外分光法の特徴を理解し、どんな検査や分析に適した分光法なのか、近赤外分光法を使いこなすためにはどのような知識や技術が必要なのかを習得できる

近赤外分光法の基礎と材料等の分析への応用

【LIVE配信】【アーカイブ配信】 セミナーURLはこちら → <https://www.rdsc.co.jp/seminar/251235>

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2025年12月17日(水) 13:00～16:00
- ◆アーカイブ配信: 12/18(木)～1/1(木)期間中何度でも受講可能
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 東京農工大学 名誉教授 高柳 正夫氏

1986年 分子科学研究所 助手
1995年 東京農工大学 助教授
2004年 東京農工大学 教授
2024年 東京農工大学 名誉教授
2003～2007年 日本分光学会 常務理事および学会誌「分光研究」編集委員長
2004～2024年 近赤外研究会 理事(うち2020～2024年 会長)
2011～2015年 日本分光学会 近赤外分光部会 部会長
2018～2022年 日本分光学会 理事
その他、日本化学会、日本分析化学会、分子科学会、大気化学会、大気環境学会等 会員

【趣旨】 近赤外分光法は、農林水産業や工業の生産現場や製品管理現場、あるいはリユース・リサイクルを目的とした廃棄物の分別現場などで広く用いられるようになってきました。近赤外分光法が従来から広く用いられている紫外可視分光法や赤外分光法とは異なった特徴を持ち、その特徴が実用分光に適しているためです。特徴が異なるので、使われ方やスペクトル解析の方法も従来からの分光法とは大きく異なります。

このセミナーでは、原理、測定法、装置、応用例を紹介することで近赤外分光法の特徴を理解いただきます。また紫外可視分光法や赤外分光法とどのように異なるのかについてもお話します。それらを通じて、近赤外分光法がどんな検査や分析に適した分光法なのか、近赤外分光法を使いこなすためにはどのような知識や技術が必要なのかを知っていただこうと思います。

1. 近赤外分光法

【プログラム】

- 1-1. 近赤外分光法の原理
- 1-2. 近赤外分光法の特徴
- 1-3. 近赤外分光法は何に使えるのか
- 1-4. 近赤外分光法と赤外分光法との使い分け

2. 近赤外スペクトルの測定

- 2-1. いろいろな測定法:
透過法、拡散反射法、インタラクタンス法
- 2-2. スペクトルの表し方
- 2-3. マルチスペクトルカメラ、ハイパースペクトルカメラ

3. 近赤外分光装置

- 3-1. いろいろな分光方式
- 3-2. ベンチトップ型分光光度計
- 3-3. 小型分光器

4. 近赤外スペクトルの解析法

- 4-1. スペクトルに含まれる情報
- 4-2. バンドの帰属
- 4-3. ケモメトリックスの応用
- 4-4. 代表的な多変量解析
- 4-5. 今後の展望

5. 近赤外分光法の応用

- 5-1. 判別分析の例
- 5-2. 定量分析の例

『近赤外分光法』セミナー申込書 FAX: 03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェック下さい⇒ ☐ LIVE / ☐ アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>